

(福) ケアハウス信愛館

◆ 思いのほか暖冬で喜んでいましたが、滋賀県内でインフルエンザ集団発生ニュースが飛びこんできました。食事の前や帰館時の手洗い徹底を職員が呼び掛け、外出時のマスク着用などの対策に追われていますが、皆様は普段と変わらず過ごされています。

◆ 十二月二十一日(金) 近江兄弟社中学から八十名の皆様がクリスマスのキャロリングに来館され、「まき

びと羊を」「荒野のはてに」「もろびとこぞりて」の三曲を讃美されました。八十名ともなるとステージ一杯です。若い歌声が響き渡り元気も一緒にもらったクリスマスでした。いただいた手作りのカードは夕食時皆様にお持ち帰



りいただきました。

◆ 十二月二十八日(金) もちを食べる会を行いました。以前は皆様と一緒につきたてのお餅を丸めていましたが、衛生上の問題もあり厨房で「おろし餅」と「みたらし餅」を調理していただきました。

お餅は幼い頃の思い出にながっているのでしょうか、笑顔が食堂一杯に

広がりました。

◆ 一月一日(火)「新年会」を行いました。厨房の皆様による心

づくしのおせちを前に「一月一日」を全員で歌い、理事長挨拶の後なごやかな雰囲気の中で舌鼓をうちました。

◆ 一月二日(水) 昨年テレビで紹介されたいた、NHKアーカイブスの回想法ライブラリー「むかしの暮らし・むかしの日本各地」



のDVDを借りていただきましたので、鑑賞しました。高齢者の回想療法のために作成された作品ですが、昭和四十〜五十年代日本の暮らしが映像で記録されていて、職員が事前に視聴した中から今回は「戦中戦後の学校生活」「子どもの遊び」「庶民の楽しみ」「家庭」を選びました。戦

中の学校生活ではきれいに整列し一糸乱れず行われているラジオ体操の風景、体育の授業での高度なマット運動、寺や公民館での学童疎開生活、お国のためにと女学生が産院で実習し、赤ちゃんを沐浴させている光景など、今では考えられませんが、御覧になっっている入居者皆様は、それぞれに當時を思い出し感慨にふけておられる様子でした。

◆ 一月十三日(日)「ぜんざいの会」を例年通り行いました。